

【学校経営の基盤】

(1) 国の教育

- 学習指導要領より
- ・①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度
- ・「主体的・対話的で深い学び」を目指す（アクティブラーニング）
- ・社会に開かれた教育課程（社会との連携・協働）

(2) 本市の教育

- SDG sの視点を生かしたシビックプライドの醸成
- 一人一人に生きる力をはぐくむ学校教育の創造
- ・北九州市教育大綱
- ・北九州市子どもの未来をひらく教育プラン
- ・北九州市学力・体力向上アクションプラン第2ステージ（延長版）
- ・北九州市小中一貫教育ガイド
- ・学校における業務改善プログラム第3版
- ・北九州市教育委員会人材育成基本方針

【本年度の重点目標】

(1) 確かな学力・体力の向上

- スクールプラン策定委員会による組織的・計画的な取組
- ・「学びの質を高める授業づくり」5つのポイントを意識した授業づくり
- 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点）を実現する授業の構築
- ・GIGA端末の活用促進
- 家庭と連携した学習習慣・運動習慣等の充実
- ・家庭学習習慣の定着と質の向上
- 授業規律の徹底
- 教室内外学習環境の充実
- 体力向上のための取組
- ・保健体育科の授業改善及び運動習慣定着のための手立ての検討

(2) 心の育ちの推進

- 自己実現を目指す積極的な生徒指導
- ・教職員の共通認識をベースとした生徒指導体制の確立
- ・いじめ事案への迅速かつ的確な対応
- ・長期欠席生徒及びその保護者に寄り添ったきめ細やかな対応
- ユニバーサルデザインの視点に立った特別支援教育の充実
- ・個別の教育支援計画及び指導計画の作成と活用
- 自律（自立）した生徒を育てる生徒会活動の充実
- 思いやりの心の育成や規範意識の醸成
- 非行防止・薬物乱用防止、暴走、情報モラル等の取組の充実
- 確かな人権感覚をはぐくみ、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
- 部活動の適切な運営
- ・合理的かつ効果的な練習計画、適正な休養日の設定

(3) 地域の特性や教育資源を生かした取組の推進

- 読書活動の充実を図る図書館教育の推進
- 望ましい勤労観・職業観を育成するキャリア教育の推進
- 日本の伝統文化を継承する教育の推進
- SDG s教育の推進及びユネスコスクールとしての取組の充実
- 健康・安全教育の推進

【本校の教育課題】

- (1) 生徒の実態 (2) 保護者・地域の願い (3) 時代や社会の要請

令和6年度 尾倉中学校 学校経営方針

＜尾倉中学校区 小中一貫教育目標＞  
確かな学力と豊かな心で、たくましく生きる児童生徒を育む学校

（尾倉中学校区 目指す児童生徒像）  
夢や目標をもって、地域を愛し、地域社会に貢献できる児童生徒

＜基本方針＞

- ① ひとりひとりに「生きる力」を育む指導
  - 授業改善（考えを発表する場面・話し合う活動の創出）の推進
  - ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ② 小学校から中学校への円滑な移行と一貫した指導体制の確立
  - 国型コミュニティ・スクールを活用した地域とともにある小中一貫教育の推進
  - （4-3-2制区分の明確化及び9年間をつなぐカリキュラム）
- ③ 尾倉中学校区の特徴を生かした一貫教育の推進
  - 学校と地域が連携してできる学習や行事の取組の推進
  - 「施設分離型」として、連携から一貫への取組の充実

＜校訓＞ 自主・創造・協力

【尾倉中学校教育目標】  
豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成  
～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

目指す生徒像

- 1 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- 2 健康で明るく、思いやりのある生徒
- 3 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒

目指す学校像

- 1 明るく元気のある  
楽しい学校
- 2 地域や保護者に  
信頼される学校
- 3 安全・安心で  
美しく整備された学校

目指す教師像

- 1 教育的愛情に満ち、  
優しさと厳しさのある教師
- 2 自ら研修に励み、  
実践的指導力を高める教師
- 3 教育公務員としての  
自覚と使命感をもつ教師
- 4 変化を恐れず、挑戦し続ける教師

＜小中一貫リーディング校としての取組＞

- ・9年間を通じたカリキュラムの編成
- ・小学校高学年からの教科担任制（乗り入れ授業）の導入
- ・小・中合同研修会によるイメージの共有と共通理解の促進
- ・尾倉中学校区の実情に応じた特色ある取組

＜地域・保護者との連携・協働による教育活動の推進＞

- ・国型CS（小中合同）の実践・検証を通じた目標・ビジョンの共有
- ・地域学校協働活動（地域合同清掃・花いっぱい運動等）の推進
- ・学校からの情報発信の強化（通信・HP・TETORU・PTA理事会等）
- ・地域・関係団体等からの積極的なGTの導入

【重点目標達成のための具体的方策】

(1) 隠れたカリキュラム

- 基本的な生活習慣（学年生徒指導・環境美化等）の確立
- ・職員・生徒会による朝の挨拶運動・清掃奉仕活動、小中連携による挨拶運動、集会や授業時の挨拶の励行
- 清掃活動の徹底、掃除時間の全教職員による清掃指導の徹底、保護者や地域と連携した地域清掃活動の実施
- 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進（保健指導）
- 食育の推進（給食・保健指導・家庭科）

(2) 凡事徹底

- 学習規律・集団規律の徹底
- 出席確認・朝自習の徹底、授業の始めと終わりの挨拶の徹底
- 朝自習、朝読書、明日への伝言板等の計画的・継続的な実施
- 授業での発表・話し合い活動、集会等のルールの確認

(3) 自主・自立・自己決定

- 家庭学習習慣の確立
- 尾倉中スタンダードとしての取組の確立（スクールプラン策定委員会）
- 家庭学習の取組、忘れ物0週間、宿題提出率向上
- 定期考査前の学習計画表の指導

(4) 授業改善・OJT

- 「言葉の力」を高め、課題解決能力の向上を目指す授業づくり
- 「めあて」「まとめ」「振り返り」の提示、ゴールを見据えた授業づくり
- 「言葉の力」「思考力・判断力・表現力」を高める指導方法の工夫
- 入試等の変化、時代・社会の要請に対応できる授業づくり
- 「言葉の力」「活用する力」に重点を置き、「話し合い活動」「表現学習」「プレゼンテーション」「スピーチ」等の取組
- 知識の伝達だけでなく実生活の中で活用する場面の設定
- ICTや教材提示装置等の活用
- 校内でのOJTの意識向上
- 授業改善のための公開授業や研究授業の実施
- ベテラン教員の知識・ノウハウの若年教員への伝承
- 学力調査等の各種調査などのデータ活用
- 学力の状況把握と少数習熟度別指導やTTなど、個に応じた指導の充実
- 放課後ひまわり学習塾等の実施

(5) 創意工夫のある道徳教育の推進

- 教育活動全体を通じた一人一人の内面に根ざした道徳教育の推進
- 学年全体での道徳の時間の内容の充実と指導方法の工夫・改善
- 生徒の発達段階に沿った3年間を見通した道徳の時間の充実

(6) 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の充実

- 計画的な特別支援教育研修の実施と校内支援体制の充実
- 一人一人のニーズの把握・理解（個別の教育支援計画の作成）
- コーディネーターを中心とした支援の必要な生徒、長期欠席生徒の実態把握
- 個別最適な学びの充実のための環境整備（ステップアップルームの活用）
- 学校全体での情報共有
- 関係機関との連携及び生徒の特性に応じた支援体制の構築

(7) 図書館の機能充実と読書活動の推進

- 学校図書館職員、スクールヘルパー、生徒会による学校図書館運営の充実
- 学年ごとの入室、読書冊数の把握
- 読みやすく居心地のよい学校図書館の環境整備
- 学校の文化発信基地としての機能の充実
- 子ども読書の日（4月）・北九州子ども読書の日（10月）の取組